

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-309404

(43)Date of publication of application : 23.10.2002

(51)Int.Cl.

A41C 3/00
A41C 3/08
A41C 3/12
A41D 7/00
D04B 1/24
D04B 21/20

(21)Application number : 2001-115725

(71)Applicant : WACOAL CORP

(22)Date of filing : 13.04.2001

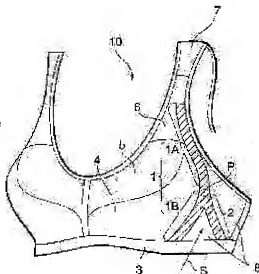
(72)Inventor : TANAKA KANAKO

(54) WOMEN'S CLOTHES WITH CUP

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To three-dimensionally shape the bust with a feeling of natural wearing without using a wire.

SOLUTION: The women's clothes with cups are obtained by composing a gathering and uplifting functional part 1 of a prescribed width extending from the end on the front side of a part 7 corresponding to a shoulder strap along a verge's line to a part 3 corresponding to an under tape and formed into a nearly circular arc shape convex to the rear of the side and a functional part 2 maintaining a nearly circular arc line of a prescribed width, branched from a prescribed position P in the course of the pushing and uplifting functional part 1 to the rear of the side and reaching the part 3 corresponding to the under tape from the oblique direction so as to provide the lower stretchability in the parts 1 and 2 than that of adjacent regions 4, 6, and 8. Thereby, an upward force is applied to the gathering uplifting part 1 in a usual worn state and the gathering and uplifting functional part 1 performs actions of pushing up the whole so as to be a straight-line form. The functional part 2 maintaining the nearly circular arc line prevents the actions of



the part 1 and performs actions of maintaining the natural roundness. As a result, a force so as to push up the bust in the inside upward direction with the natural roundness is produced.

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
A 4 1 C 3/00		A 4 1 C 3/00	B 4 L 0 0 2
3/08		3/08	
3/12		3/12	C
			D
A 4 1 D 7/00		A 4 1 D 7/00	G
審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 8 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2001-115725(P2001-115725)

(22) 出願日 平成13年4月13日 (2001. 4. 13)

(71) 出願人 000139399

株式会社ワコール

京都府京都市南区吉祥院中島町29番地

(72) 発明者 田中 可奈子

京都府京都市南区吉祥院中島町29番地 株式会社ワコール内

(74) 代理人 100088155

弁理士 長谷川 芳樹 (外 2 名)

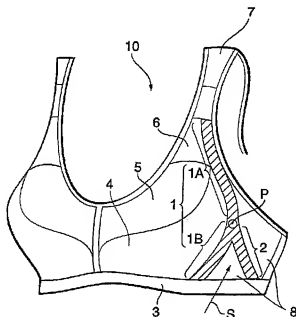
Fターム(参考) 4L002 BA02 BA04 CA01 EA00 FA03

(54) 【発明の名称】 カップ付き女性用衣類

(57) 【要約】

【課題】 ワイヤを用いることなく、自然な着け心地でバストを立体的に造形する。

【解決手段】 肩ストラップ相当部7の前側端部からバースラインに沿ってアンダーテープ相当部3に至る脇側後方に凸の略円弧状とされた所定幅の寄せ上げ機能部1、及び寄せ上げ機能部1の途中の所定位置Pから脇側後方へ分岐しアンダーテープ相当部3に斜め方向から到達する所定幅の略円弧状ライン維持機能部2における伸縮性が、その隣接領域4、6、8の伸縮性よりも低くなるよう構成したので、通常の着用状態で、寄せ上げ機能部1に対し上方への力がかかり、寄せ上げ機能部1が直線になろうとして全体を押し上げる働きをし、略円弧状ライン維持機能部2がそれを防止し自然な丸みを維持する働きをする。このため、バストを内側上方へ自然な丸みで寄せて上げる力が発生する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 左右一対のカップ相当部と、前記カップ相当部の上縁部に連続する左右一対の肩ストラップ相当部と、

前記カップ相当部の脇側縁部に連続し、下縁にアンダーテープ相当部と連結する帯状の脇部とを備えた編み立て成型のカップ付き女性用衣類であって、

前記肩ストラップ相当部に連続し又は前記カップ相当部の脇側上縁部近傍を始点とし、脇側バージスライン近傍に沿い前記アンダーテープ相当部に至る所定幅の第1の領域、

及び前記第1の領域の途中の所定位置から脇側後方へ分岐し前記アンダーテープ相当部に斜め方向から到達する所定幅の第2の領域、

を含む所定領域における伸縮性が、編み組織を変えることにより、前記所定領域に隣接する領域の伸縮性よりも低くなるよう構成されたことを特徴とするカップ付き女性用衣類。

【請求項2】 前記第2の領域と、前記第1の領域と、前記アンダーテープ相当部とで略三角形を形成することを特徴とする請求項1記載のカップ付き女性用衣類。

【請求項3】 前記第1の領域が脇側後方に凸の略円弧状に構成されたことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のカップ付き女性用衣類。

【請求項4】 前記第2の領域が前記第1の領域の脇側最突出部近傍から脇側後方へ分岐することを特徴とする請求項1～3の何れか1項に記載のカップ付き女性用衣類。

【請求項5】 前記第2の領域の伸縮性が前記第1の領域の伸縮性よりも低くなるように構成されたことを特徴とする請求項1～4の何れか1項に記載のカップ付き女性用衣類。

【請求項6】 前記第2の領域に隣接するカップ脇部は、カップ上部に比べて伸縮性が低くなるよう構成されたことを特徴とする請求項1～5の何れか1項に記載のカップ付き女性用衣類。

【請求項7】 前記所定領域は、前記第1の領域、前記第2の領域及び前記アンダーテープ相当部で囲まれた領域も含むことを特徴とする請求項1～6の何れか1項に記載のカップ付き女性用衣類。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ブラジャー等のカップ付き女性用衣類に関する。かかるカップ付き女性用衣類には、ブラジャー、ブラスリップ、ブラキャミソール、ボディースーツ、ボディティディ等のファンデーション衣類の他、水着やレオタード等も含まれる。

【0002】なお、本明細書で「伸縮性が低い」とは、外力に対し伸縮しにくく、伸ばした場合に強い反発力（強さ）をもち、伸ばしにくい性質を意味する。

高い」とは、外力に対し伸縮し易く、伸ばした場合に生じる反発力（縮む力）が弱いという性質を意味する。

【0003】

【従来の技術】ブラジャーには、バストの造形及び保護を行う左右のカップ部の周縁部にワイヤーを使用したワイヤーブラジャーと、ワイヤーを使用していないノンワイヤーブラジャーとがある。このうちワイヤーブラジャーでは、ワイヤーを用いることで、カップが横方向に引かれバストがつぶれることを抑制している。このようにワイヤーを立体的に造形することができる。ところが、身体サイズに合わないワイヤーブラジャーを着用した場合等にワイヤーが皮膚に食い込みワイヤー跡が皮膚に残るおそれがあるといった問題点や、洗濯によりワイヤーが変形するおそれがあるといった問題点があった。

【0004】これに対し、ノンワイヤーブラジャーでは、上記問題点は無く、ワイヤーブラジャーに比して着け心地が楽と言われているが、カップが横方向に引かれてバストがつぶれやすく、バストを立体的に造形することが、即ち、自然な丸みで造形補正することが容易でない、という問題点があった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記課題を解決するために成されたものであり、ワイヤーを用いることなく、自然な着け心地でバストを立体的に造形することができるカップ付き女性用衣類を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、請求項1のように、左右一対のカップ相当部と、前記カップ相当部の上縁部に連続する左右一対の肩ストラップ相当部と、前記カップ相当部の脇側縁部に連続し、下縁にアンダーテープ相当部と連結する帯状の脇部とを備えた編み立て成型のカップ付き女性用衣類であって、前記肩ストラップ相当部に連続し又は前記カップ相当部の脇側上縁部近傍を始点とし、脇側バージスライン近傍に沿い前記アンダーテープ相当部に至る所定幅の第1の領域、及び前記第1の領域の途中の所定位置から脇側後方へ分岐し前記アンダーテープ相当部に斜め方向から到達する所定幅の第2の領域、を含む所定領域における伸縮性が、編み組織を変えることにより、前記所定領域に隣接する領域の伸縮性よりも低くなるよう構成されたことを特徴とする。

【0007】本発明は、脇側バージスライン近傍に沿いアンダーテープ相当部に至る所定幅の第1の領域、及びこの第1の領域の途中の所定位置から脇側後方へ分岐しアンダーテープ相当部に斜め方向から到達する所定幅の第2の領域、を含む所定領域における伸縮性に特徴があるが、ここでの第1、第2の領域は、換言すれば、請求項2のように、これら領域とアンダーテープ相当部とで

(a)に示すように、第2の領域2、第1の領域1、及びアンダーテープ3は略三角形を形成する。また、第1の領域は、換言すれば、請求項3のように脇側後方に凸の略円弧状に構成され、第2の領域は、換言すれば、請求項4のように前記第1の領域の脇側最突出部近傍から脇側後方へ分岐するよう構成される。

【0008】また、第1の領域1は、肩ストラップ相当部に連続し又はカップ相当部の脇側上縁部近傍を始点として形成されている。即ち、第1の領域1は、肩ストラップ相当部の全体と一体に構成され又は肩ストラップ相当部の下端部近傍に連結されることで当該肩ストラップ相当部から連続したものであってもよいし、カップ相当部の脇側上縁部近傍を始点として形成されたものであってもよい。

【0009】このため、本発明に係るカップ付き女性用衣類を着用した状態では、図2(b)のように第1の領域1が内側上方へ引っ張られ、一方の第2の領域2は第1の領域の途中の所定位置Pから脇側後方へ分岐している。第1の領域1の所定位置Pより上側部分1Aと下側部分1Bで構成される略円弧状ラインが直線になるのを防止し、バージスラインに沿った形で、図2(b)の破線状態から実線状態へと変化する。下側部分1Bは、上記直線になろうとする力により引っ張られ、図2(c)の状態に至る。

【0010】このとき、上記第1の領域を含む所定領域の伸縮性が、その隣接領域の伸縮性よりも低くなるように構成されているので、隣接領域よりも伸縮性が低い第1の領域は隣接領域を牽引して全体を押し上げる働きをし、第2の領域は第1の領域の脇側最突出部近傍から脇側後方へ引く力を作用させて自然な丸みを維持する働きをする。

【0011】即ち、脇側バージスライン近傍に沿って配置された下側部分1Bは、図2(b)に示すように破線状態から実線状態へ変化した矢印Q方向に沿った張力及び脇側後方への張力が生じることで、矢印R方向にバストを内側上方へ自然な丸みで寄せ上げる力が発生し、バストを内側上方へ自然な丸みで寄せ上げることとなる。

【0012】このようなバスト寄せ上げ効果は、本発明に係るカップ付き女性用衣類の通常の着用状態で発揮されるが、さらに、第1の領域及び第2の領域の働き、並びに編み立て成型であることにより、腕を挙げたときにも、運動追従性が非常に良くバストの自然な丸みを維持することができる。

【0013】このように、ワイヤーを用いない編み立て成型のカップ付き女性用衣類において、バストの自然な寄せ上げ効果を奏するので、自然な着け心地を維持しつつバストを立体的に成形することが可能となる。

【0014】また、本発明に係るカップ付き女性用衣類

領域の伸縮性よりも低くなるように構成することが望ましく、この場合、第1の領域が内側上方へ引っ張られたときに第1の領域が前中心側へ寄りすぎないように、当該第1の領域よりも伸縮性が低い第2の領域により抑止されるので、バストの自然な丸みを効果的に維持することができる。

【0015】また、本発明に係るカップ付き女性用衣類では、請求項6のように、第2の領域に隣接するカップ脇部が、カップ上部に比べて伸縮性が低くなるよう構成することが望ましい。この場合、カップ上部がカップ脇部よりも伸縮性が高くなることで、バストを押し潰すといった従来の問題を解消でき、バストを自然な丸みで造形塑型することが可能となる。

【0016】なお、請求項7のように、所定領域が、第1の領域、第2の領域及びアンダーテープ相当部で囲まれた領域も含むよう構成してもよい。この囲まれた略三角形の領域が第1、第2の領域と同様の低い伸縮性の領域である場合も、図2(a)に示す第1の領域1の上側部分1Aと第2の領域2とで形成されるラインが直線にならうとし、その直線になろうとする力により下側部分1Bが引っ張られる作用は維持できるので、上記同様、下側部分1Bに矢印Q方向に沿った張力が生じ、矢印R方向にバストを内側上方へ寄せ上げる力が発生する、という効果を奏する。

【0017】**【発明の実施の形態】**以下、添付図面を参照しながら、本発明に係るカップ付き女性用衣類の実施形態として、ブラジャーの例を説明する。なお、同一の要素には同一の符号を付し、重複する説明を省略する。

【0018】**【本実施形態の構成】**図1は、本実施形態に係る編み立てタイプのブラジャー10の基本構成を示す斜視図である。この図1に示すように、ブラジャー10は、丸編みタイプであり、図1に実線で示す布同士との境界線で編み組織を切り替えることで、上カップ部5、下カップ部6、上端布部6、バック布部8、肩ストラップ相当部7、アンダーテープ相当部3、後述する寄せ上げ機能部1及び略円弧状ライン維持機能部2が形成されている。もちろん、これらはそれぞれ左右一対設けられ、左右対称に構成されている。

【0019】本実施形態で特徴的なことは、カップ脇側に、隣接領域に対し伸縮性の低い寄せ上げ機能部1及び略円弧状ライン維持機能部2が形成されたことである。即ち、寄せ上げ機能部1は、肩ストラップ相当部7の前端部から上端布部6を抜けバージスラインに沿いアンダーテープ相当部3に至る所定幅の領域に形成され、脇側後方に凸の略円弧状となっている。略円弧状ライン維持機能部2は、寄せ上げ機能部1の中間の所定位置Pから脇側後方へ分岐しアンダーテープ相当部3に斜め方向から到達する所定幅の領域に形成されている。また、図

より下方部分1B、略円弧状ライン維持機能部2及びアンダーテープ相当部3は略三角形を形成するように配置されている。また、寄せ上げ機能部1及び略円弧状ライン維持機能部2とその隣接する領域と丸編み素材において編み組織を切り替えることにより、寄せ上げ機能部1及び略円弧状ライン維持機能部2の伸縮性が、隣接する下カップ布部4、上端布部6、バック布部8の伸縮性よりも低くなるよう構成されている。

【0020】また、図3に示すように、カップ周辺の伸縮性について、寄せ上げ機能部1が最も低く、カップ中心へ向かって段階的に高くなっていることも特徴である。即ち、上カップ布部5をフロート編みとし、下カップ布部4及び上端布部6をリブ編みとし、寄せ上げ機能部1をループタック編みとすることで、寄せ上げ機能部1、下カップ布部4及び上端布部6、上カップ布部5の順に伸縮性が高くなるよう構成している。このうち寄せ上げ機能部1については縦方向、横方向ともに伸縮性を低くしているが、縦方向は横方向に比べ少し伸縮性を持たせることで、着用感を良くしている。

【0021】なお、上記のような伸縮性の差異を設けるためには、丸編み素材以外では、例えば、ジャガードラッセル編みによる編組織切替、ジャガードトリコット編みによる編組織切替等を採用してもよい。

【0022】〔本実施形態の作用〕本実施形態は上記の特徴的な構成を有するため、以下の作用・効果を奏する。

【0023】ブラジャー10の通常の着用状態において、隣接領域よりも伸縮性が低い寄せ上げ機能部1が図2(b)のように上方へ引っ張られ、略円弧状ライン維持機能部2がこの寄せ上げ機能部1の途中の所定位置Pから分岐しているので、この略円弧状ライン維持機能部2も上方へ引っ張られる。

【0024】ここで、寄せ上げ機能部1は脇側後方に凸の略円弧状となっており、略円弧状ライン維持機能部2は寄せ上げ機能部1とは逆に脇側後方に分岐しているため、上記の引っ張りにより、寄せ上げ機能部1は直線になろうとし、略円弧状ライン維持機能部2はそれを防止しようとし、図2(b)の破線状態から実線状態へと変化する。このとき、寄せ上げ機能部1には強い「直線になろうとする力」が発生している。また、寄せ上げ機能部1の伸縮性が、その隣接領域（下カップ布部4、上端布部6、バック布部8）の伸縮性よりも低いので、当該寄せ上げ機能部1は隣接領域（下カップ布部4、上端布部6、バック布部8）を牽引して全体を押し上げる働きをし、略円弧状ライン維持機能部2は脇側最突出部近傍から脇側後方へ引く力が働き自然な丸みを維持する働きをする。

【0025】下側部分1Bは、上記直線になろうとする強い力により引っ張られ、図2(c)の状態に至る。即

は、図2(b)に示すように破線状態から実線状態へ変化し矢印Q方向に沿って張力が生じることで、矢印R方向にバストを内側上方向へ寄せて上げる力が発生し、バストを内側上方向へ寄せて上げることとなる。

【0026】このように、ワイヤーを用いない編み立て成型のカップ付き女性用衣類において、バストの自然な寄せ上げ効果を奏するので、自然な着心地を維持しつつバストを立体的に造形することが可能となる。

【0027】また、第2の特徴として、図3のように、カップ周辺を、カップ脇からカップ中心へ向かって伸縮性が段階的に高くなるよう構成したので、伸縮性の低い下側部分1Bによりバストを寄せて上げる効果を維持しつつ、カップ中心へ向かって伸縮性が高くなることで、バストを押し潰すといった従来の問題を解消でき、バストを自然な丸みで造形補正することが可能となる、という利点がある。

【0028】なお、図1の実施形態の変形例を図10、図11に示す。図10は、寄せ上げ機能部1及び略円弧状ライン維持機能部2（図1）とアンダーテープ相当部3とで囲まれた領域も、寄せ上げ機能部1及び略円弧状ライン維持機能部2と同じ編み組織とした構成例であり、図11は、寄せ上げ機能部1及び略円弧状ライン維持機能部2とアンダーテープ相当部3とで囲まれた領域Tを略円弧状とした構成例である。いずれも上記同様、脇側バースライン及び脇側後方に張力が働き、バストを内側上方向へ自然な丸みで寄せて上げる力が発生するという効果を奏する。

【0029】〔各種の適用例について〕本発明は、上記丸編みタイプのブラジャーだけでなく、図12〜図14に示すジャガードラッセルのブラジャーにも適用可能である。以下、ジャガードラッセルのブラジャーについて説明する。なお、図12はジャガードラッセルのブラジャーの構成を示す斜視図であり、図13は裁断前の素材図であり、図14は縫合前の展開図である。

【0030】図12のブラジャー10Jはジャガードラッセル編みによって、ジャガードおきと制御することによって、地編みの表側に現れる編組織を曲線状パターンに編んで製作する。例えば、寄せ上げ機能部1及び略円弧状ライン維持機能部2は、伸縮性の低いサテン編み組織とし、これにより、引き上げ機能及び略円弧状ライン維持機能を持たせている。アンダーテープ相当部3は、寄せ上げ機能部1及び略円弧状ライン維持機能部2に比べ伸縮性の高いサテン編み組織としている。

【0031】また、下カップ布部4、上端布部6、肩ストラップ相当部7は、伸縮性の低いメッシュ編み組織（サテン編み組織に比べ伸縮性が高い）としている。これにより、特に、カップの下部から脇側に至る下カップ布部4は、バストの膨らみに追従すると同時にバストを支える機能を持たせている。

部5は、下カップ布部4等よりも伸縮性の高いメッシュ編み組織とすることで、ブラジャー10Jの中で最も伸縮性が高い部分を形成し、バストの膨らみに容易に追随できるようにしている。

【0033】さらに、ブラジャー10Jでは、上記のような編み組織を変化させる以外に、弾性糸を挿入本数や糸の太さを変化させることによって、伸縮性に差異を設けている。即ち、図12～図14におけるブラジャー10Jの下部に相当する領域C及びストラップ相当部7を含むブラジャー10Jの上部に相当する領域Aには、140デニールの弾性糸を2本挿入することで、伸縮性を低くしている。ブラジャー10Jの中間部に相当する領域Bには140デニールの弾性糸を1本挿入することで、領域C、Aよりも伸縮性を高くしている。

【0034】図13に示すように、生地幅Dの範囲内でブラジャー10Jを3列分断している。この3列は素材の編み立て方向に沿って連続する（即ち、幅Eのブラジャー10Jが連続的に断断される）。

【0035】図14に示すように、ジャガードラッセルでは、ストラップ相当部7を形成するために端部J3と端部J4とを縫合し、端部J5と端部J6とを縫合するが、それ以外には、後ろ中心に相当する端部J1と端部J2とを縫合するだけである。このように脇部分は縫合しないことにより、脇部分の第1、第2の領域の動きを阻害することなく、バストの寄せ上げ効果を有効に発揮することができる。

【0036】なお、丸編みによるもの、ジャガードラッセルによるもの、共に、ブラジャーであれば、1枚の素材のみで形成可能であり、縫合箇所が最小限の箇所ですむので、着用時の肌触りがよくなるという利点がある。

【0037】ところで、本発明はブラジャー以外にも、さまざまなカップ付き女性用衣類に適用可能である。そこで、各種の適用例を示す。

【0038】図4～図6は、上記図1のブラジャーと同様の構成のカップ部分を有する各種のカップ付き女性用衣類の構成を示しており、寄せ上げ機能部を斜線部のように形成することができる。即ち、図1の構成は、図4のような袖無しタイプの衣類40（例えば水着やレオタード等）にも、図5のような長袖タイプの衣類50（例えばボディースーツやレオタード等）にも、図6のような半袖タイプの衣類60にも、それぞれ適用可能である。

【0039】また、図7、図8に示すようにカップ上部部にレース等を用いて装飾性を高めたカップ付き女性用衣類についても、本発明は適用できる。即ち、図7のようなボディティディ70にも、図8のようなブラキミソール80にもそれぞれ、寄せ上げ機能部を斜線部のように形成可能であり、その他、本発明はボディースーツ、水着、レオタード、ブラスリップ等にも適用可能である。

【0040】なお、寄せ上げ機能部1の上端部が肩スト

ではなく、通常の着用状態で寄せ上げ機能部1に対処し方への力がかかり、「直線になろうとする力」が発生する構成であればよい。例えば、寄せ上げ機能部1の上端部が上端布部6の上端近傍まで到達した構成であってもよい。

【0041】また、図9に示すように、寄せ上げ機能部1及び略円弧状ライン維持機能部2は、直線を組み合わせた逆Y字状の形状であってもよい。即ち、略円弧状ライン維持機能部2が寄せ上げ機能部1の上側部分1Aに対処し点Pで外側に直線状に屈曲しており且つ直線状の下側部分1Bがバストの脇下側に配置されているならば、平面状態では直線を組み合わせた逆Y字状であっても、着用状態では下側部分1Bが脇側後方に凸の略円弧状となり、上記同様の作用・効果を奏することができる。

【0042】
【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、通常の着用状態において、隣接領域よりも伸縮性が低い第1の領域が内側上方へ引っ張られて直線になろうとし、第2の領域はそれを防止しようとするので、第1の領域は隣接領域を牽引して全体を押し上げる働きをし第2の領域は第1の領域の脇側最突出部近傍から脇側後方へ引く力を作用させて自然な丸みを維持する働きをすることで、バストを内側上方へ自然な丸みで寄せ上げる力が発生し、ワイヤーを用いない編み立て成型のカップ付き女性用衣類において、自然な着心地を維持しつつバストを立体的に造形することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】発明の実施形態のブラジャーの構成を示す図である。

【図2】（a）は着用者が挙手する前の寄せ上げ機能部の状態を示す図であり、（b）は着用者が挙手したときの寄せ上げ機能部の移動状況を示す図であり、（c）は着用者が挙手した後の寄せ上げ機能部の状態を示す図である。

【図3】伸縮性のカップ周辺からカップ中心へ向かって段階的に高くなっている構成を示す図である。

【図4】図1のブラジャーと同様の構成のカップ部分を有する袖無しタイプのカップ付き女性用衣類の構成を示す図である。

【図5】図1のブラジャーと同様の構成のカップ部分を有する長袖タイプのカップ付き女性用衣類の構成を示す図である。

【図6】図1のブラジャーと同様の構成のカップ部分を有する半袖タイプのカップ付き女性用衣類の構成を示す図である。

【図7】本発明が適用されたボディティディの構成を示す図である。

【図8】本発明が適用されたブラキミソールの構成を示す図である。

る。

【図10】寄せ上げ機能部とアンダーテープ相当部とで囲まれた領域を寄せ上げ機能部と同じ編み組織とした構成例を示す図である。

【図11】寄せ上げ機能部とアンダーテープ相当部とで囲まれた領域を略半円状とした構成例を示す図である。

【図12】ジャガードラッセルのブラジャーの構成を示す斜視図である。

【図13】ジャガードラッセルのブラジャーの裁断前の

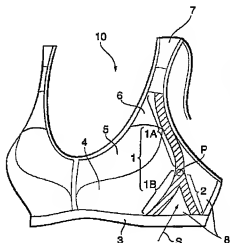
素材図である。

【図14】ジャガードラッセルのブラジャーの縫合前の展開図である。

【符号の説明】

1、2…寄せ上げ機能部、3…アンダーテープ相当部、4…下カップ布部、5…上カップ布部、6…上端布部、7…肩ストラップ相当部、8…バック布部、10、10J…ブラジャー

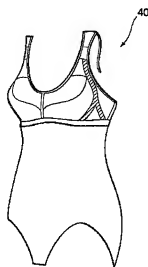
【図1】



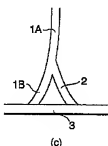
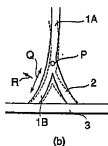
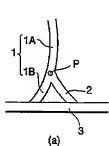
【図6】



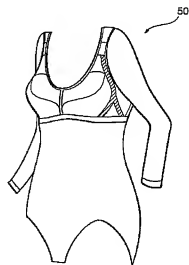
【図4】



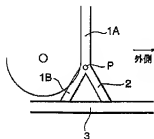
【図2】



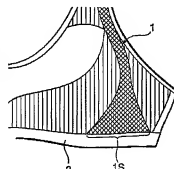
【図5】



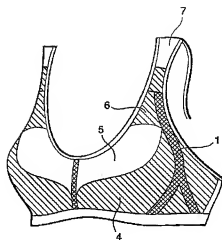
【図9】



【図10】




【図3】

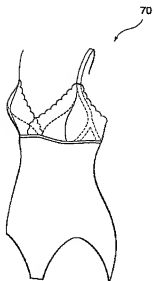


☐ :伸縮性が高い

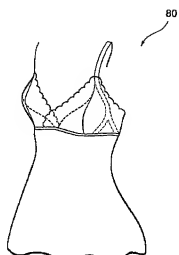
 :伸縮性が中間

 : 伸縮性が低い

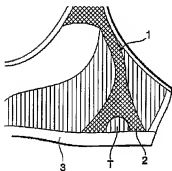
【图7】



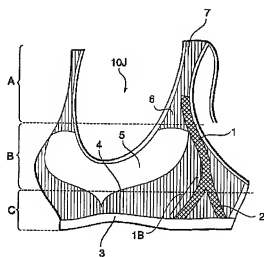
【図8】



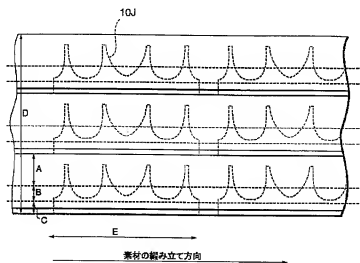
【图 1-1】



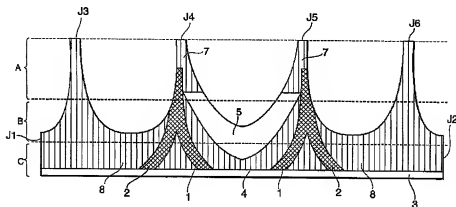
【图 12】



【図13】



【図14】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

D 04 B 1/24
21/20

識別記号

F I

D 04 B 1/24
21/20

テ-マ-ド' (参考)

Z